

しょう どうじょう とくべつこうぎ 省工ネ道場まとめ～特別講座～

しら 調べてみよう、日本の森！～中之条町の木でコースター作り～

1 なかのじょうまち 中之条町ってどんなところ？

なかのじょうまち ぐんまけん ほくせいぶ いち にいがたけん ながのけん せつ けんざかい まち
中之条町は、群馬県の北西部に位置しており、新潟県と長野県に接する県境の町
です。人口が約15,000人、面積は北区の約22倍あり、森林の面積が8割以上を
占めています。絶景が望める野反湖、また、四方温泉の一番奥に位置する奥四方
湖は、四方ブルーと呼ばれる神秘的な湖面の色が特徴で、自然美があられる
みりよくてき まち
魅力的な町です。

2 もり 森のはたらき

もり さまざま しょくぶつ い もの
森には様々な植物がしげっており、生き物たちのすみかとなっています。また、
もり つち なか ま みず
森の土の中にはすき間があるため、スポンジのように水をためこむことができま
す。植物は雨などで土が直接けずれるのを防ぎ、森が水を蓄え、少しずつ水を
なが かわ あふ ころすい どしゃくす ぶんせ
流すことで、川が溢れにくくなるため、洪水や土砂崩れを防ぎます。さらに、光合成
により二酸化炭素を吸って酸素を出すため、温暖化を防ぐはたらきもあるのです。

3 にほん もり くに 日本は“森の国”！

にほん くに めんせき やく もり もり しぜん てんねりん ひと て
日本は、国の面積の約70%が森です。森は、自然にできた「天然林」と人の手で
つくられた「人工林」に分けられ、人工林は日本の森の約40%を占めています。
じんこうりん ひと つく もり ひと てい ひつよう
人工林は、人が作った森なので、人がしっかりと手入れをする必要があります。

4 き しゅるい 木にはどんな種類がある？

き おお わ こうようじゅ しんようじゅ しゅるい わ
木は大きく分けると「広葉樹」と「針葉樹」の2種類に分かれます。サクラやカエ
デなどひろ おお は き こうようじゅ はり
広く大きな葉をもつ木を広葉樹、スギやヒノキ、カラマツなど針のように
ほそなが は き しんようじゅ よ こうようじゅ しょうぶ もくめ うつく
細長い葉をもつ木を針葉樹と呼びます。広葉樹には丈夫で木目が美しいという
とくちょう かが おお つく しんようじゅ の
特徴があり、それをいかした家具が多く作られています。針葉樹はまっすぐに伸
び、かる やわ かこう とくちょう にほん いえ はしら
び、軽くて柔らかく加工しやすいという特徴があるため、日本では家の柱などに
おお つか
多く使われてきました。